

かさくさるま

CLOSE UP 診療科紹介 小児科



小児科スタッフ

SPECIAL

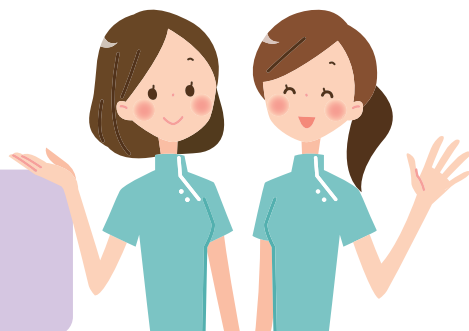
● 退任のごあいさつ
 院長・病院事業管理者 向井 正也

TOPICS

● “すぐに見たい”を実現する『すずらんネット』
 ～よく使われている情報をご紹介します～

INFORMATION

- 連携医療機関のご紹介『市立札幌病院前ひやくまち眼科』
- 『かかりつけ医制度』の推進について
- 『Dr to Dr 患者紹介専用ダイヤル』をご活用ください
- 当院の診療体制について



市立札幌病院

● 基本理念

すべての患者さんに対して その人格・信条を尊重し
 つねに“やさしさ”をもって診療に専心する

● 役割

- ① 高度急性期病院として地域の医療機関を支える。
- ② 地域医療支援病院として地域の医療機関を支える。
- ③ 北海道・札幌市の将来の医療を担う人材を育成する。
- ④ 良質で安心できる医療・サービスを安定的に提供する。

● 役割を実現するための6つの基本目標

- ① 市民の命を守るため、他の医療機関からの受け入れ要請を断らない医療を実現します。
- ② 地域の医療機関と緊密な連携体制を構築します。
- ③ 医療を担う人材を育成するとともに、先進医療に貢献します。
- ④ 医療の質を常に向上させます。
- ⑤ 患者サービスを充実させ、より快適な療養環境を実現します。
- ⑥ 業務の効率化を徹底し、健全な財政基盤を確保します。



退任のごあいさつ

院長・病院事業管理者 向井 正也

本年3月末をもちまして病院事業管理者・病院長を退任することとなりました。

2年間という短い間でしたが、お世話になりました。ありがとうございます。

私は平成9年7月に北海道大学病院から当院に赴任しました。当院のイメージは市内では両大学病院に次ぐ医療機関というものでした。しかし、実際に勤務してみるとカルテ管理の不備を代表的な事として、また各医師の権限が強くとまりのない感じがあり、さらに周辺医療機関との連携も今ひとつでした。また事態改善のための提案は抵抗勢力にあって全く実を結ばない状況でした。建物は大きくて立派だけど中身は村立病院か開業医の集まりという印象でした。その後、当時の中西院長と林副院長のリーダーシップで病院評価機構の認定のためにカルテの中央化、外来処方箋の院外化などが次々に行われ、次に吉田院長時代のDPC制度の導入などの改革を経て現在の姿の基礎

が築られました。現在では高度急性期医療を支える地域医療支援病院として地域完結型医療を目指し、「高度急性期の入院は市立病院で、落ち着いた外来はかかりつけ医で」ということが浸透していると思います。今後もこの姿勢を当院は保ちますのでよろしくお願いいたします。



150周年記念式典



150周年記念誌表紙



150周年記念誌の内容の一部

私の院長在任期間中の目標としては、1年目は創立150周年記念事業を滞りなく執り行うことが第一でした。赤字のために規模は130周年の時よりも縮小しましたが、令和元年9月25日に執り行いました。

また、150周年記念誌も刊行でき責任を果たしました。

次に同年11月上旬に関前院長がお引き受けになった全国公立病院連盟総会を当院主催で開催することでした。3日間にわたり数多い挨拶や総会の議事進行などがありましたが、何とか無事に終了しました。

最大の命題は、病院の経常収支の黒字化でしたが、関前院長が築いた多くの改革をそのまま発展させることで6年ぶりに約8400万円の黒字を達成して責任を果たしました。これらは多くの職員の協力の上に成り立つもので大変感謝しています。



全国の公立病院から多くの参加者が集まった

2年目は、この黒字基調をそのまま次の世代に引き継ぐことが最大の目標でした。ところが、新型コロナウイルスのパンデミックによりその目標を大きく変更させられました。感染症指定医療機関として使命が最優先され、日本でもトップクラスの新型コロナウイルス患者を引き受けま



新型コロナウイルス感染者を搬送するスタッフ

した。この間、地域の先生たちからの専門的な診療に対する負託にお応えすることができず、職員一同忸怩たる思いでした。まさに2年目はコロナに始まりコロナに終わった一年となりました。このパンデミックの収束にはまだ時間を要しそうですが、一般診療も徐々に元に戻していきますのでよろしくお願いいたします。

退職後は地域の医療機関で市立病院を支える立場に変わりますので一緒に協力していけることを期待しております。

診療科
紹介

小児科

～札幌市の子どもたちを守っていきます～

小児科部長 佐野 仁美

当院小児科の特徴

当院小児科は、二次救急や臨時入院対応など急性期診療に力を入れています。一方で、伝統的に多くの慢性疾患を診ています。現在、小児科専門医に加えて各分野の専門医資格を取得した医師が常勤し、専門外来を担当していることが特徴です。もちろん専門以外の疾患も全員で対応しています。専門性を高めつつ総合的な診療ができるよう目指しています。

専門外来・担当医師

糖尿病・内分泌(佐野)

甲状腺疾患や低身長症などの内分泌疾患だけでなく、1型糖尿病の子が集まっていることが特徴です。入院ではカーボカウントなども指導しています。



循環器(畠山)

先天性心疾患や川崎病などを対象とした心エコー外来は、週2回行われています。手術が必要な症例は、大学や専門施設と連携しています。



神経(伊藤)

てんかん、先天性の神経筋疾患、脳性麻痺など幅広く診療しています。病棟には専用のビデオ脳波記録計があり、他施設では実施しにくい終夜脳波検査も行っています。



腎臓(山崎)

ネフローゼ、慢性腎炎の専門的な診療が可能です。腎生検をしたときは、病理診断科や腎臓内科の先生方とカンファレンスを重ねています。



アレルギー(工藤)

外来で生活指導を行うだけでなく、日帰り入院での食物負荷試験を積極的に行っています。担当医が自ら、ゆで卵やうどんを刻んで正確に計量しています。



専攻医(小野・池守)

今年度は、小野(写真左)、池守(写真右)の専攻医2名が小児科と新生児内科で、若い力を発揮しています。



小児科病棟

[プレイルーム]

道内で数少ない医療保育士(北島)が、常勤しています。遊びを通じて乳幼児の入院ストレスを和らげるだけでなく、学童の話し相手となり、心のケアにつながっています。病棟のなかに医療と違う空間があることは、とても大事なことです。



[院内学級]

現在は常設ではありませんが、小学生・中学生を対象に、必要なときに開級されています。少人数なので、生徒に合わせた個別対応が可能です。

[外来担当表] ※は嘱託医

	受付時間	月	火	水	木	金
午前	8:45 ~ 11:00	工藤 佐野	畠山 佐野	伊藤 佐野	川村* 畠山 工藤 (アレルギー新患)	山崎 佐野
午後	13:00 ~ 16:30	伊藤(神経) 佐野(慢性) 畠山 (心エコー)	予防接種	山崎(腎臓) 佐野 (糖尿病・内分泌) 工藤 (食物アレルギー)	伊藤(神経) 川村*(慢性) 竹崎* (食物アレルギー/第1週) 泉*(心臓/第3週)	佐野 (糖尿病・内分泌) 畠山 (心エコー)

- 札幌市医師会所属の医療機関からご予約を取る場合 電話011-707-7705 (地域医療室に繋がります)
- // 所属していない医療機関からご予約を取る場合 電話011-726-7831 (予約センターに繋がります)
- 患者さんやご家族に自分で予約を取ってもらう場合 電話011-726-7831 (予約センターに繋がります)

小児科看護スタッフ

新型コロナウイルスの影響で苦勞を重ねていますが、外来・病棟とも連携して、子どもたちに何ができるか考え実践しています。

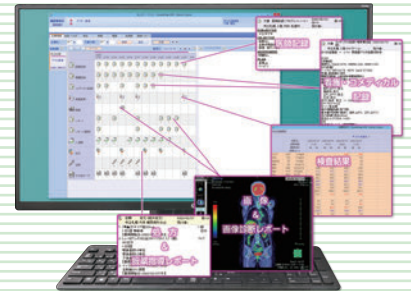
ご紹介患者さまの受け入れ

- 病院全体の診療事情による体制変更はありますが、通常は、原則いつでも患者さまのご紹介を受けております。平日・夜間休日ともに、病院代表電話(011-726-2211)にお電話いただけますと、交換を通じて小児科担当医につながります。二次救急当番日に限らず時間外の紹介入院に対応しております。どうぞご連絡ください。
- 専門外来の受診は、ご予約をお願いしております。予約センター、地域医療室をご利用可能です。急を要する場合など、必要ございましたら、小児科外来または各専門外来の担当医までお気軽にご連絡ください。

“すぐに見たい”を実現する『すずらんネット』 ～よく使われている情報をご紹介します～

2018年1月から市立札幌病院の電子カルテ情報のほぼすべてが閲覧可能となったすずらんネットは2021年2月現在で63機関がユーザーとして登録されております。

今回は、すずらんネットがよく使われている使い方の例を以下にご紹介させていただきます。ぜひ導入をご検討ください。



1 外来透析実施機関にオススメ! 透析記録!

当院から外来透析を実施している医療機関へご紹介する際には、必ず透析記録を送付しますが、紹介先によっては早めに透析記録の入手を希望されるようです。ユーザーである透析機関では、FAXや郵送で書面を待つことなく、すずらんネットを通じて一足早く透析記録を確認することが可能です。

透析記録		透析日: 令和3年3月3日	18 < 19
患者ID	553 53 03 42 才	性別	男
年齢	42	透析機	人工
透析時間	9:45	終了時刻	12:50
透析時間	3:00	実施時間	3:05

2 回復期リハビリ、療養病床にオススメ! 当院入院中の経過表(温度板)!

当院から、リハビリや療養目的で転院する患者さんは、診療情報提供書や看護サマリ、その他職種のサマリ等を持参して転院しますが、その要約内容からもう一步踏み込んだ内容を確認したいときはありませんか? そんな時は、経過表機能(温度板)をご確認ください。バイタル、検査結果、医師や看護師、リハビリスタッフ等の診療録を時系列で把握でき、オススメです。



3 調剤薬局にオススメ! 処方変更の理由や時期が閲覧できる!

医師の処方内容についての疑義は、患者さんやご家族からのヒアリングや処方医に対して電話で疑義照会を行うことが多いのではないのでしょうか。すずらんネットユーザーの調剤薬局では、これをすずらんネットで診療録や服薬指導レポート等から情報を得て、患者さんやスタッフの負担軽減を実現しております。



市立札幌病院の電子カルテ情報のほぼすべて閲覧可能な「すずらんネット」では、上記以外にもまだまだ用途は広がります。コロナ禍でリモート化が進んでいる現在、医療においてもICT(Information and Communication Technology)の導入を検討してみませんか?

すずらんネットに関するお問合せ

すずらんネット運営管理委員会事務局

〒060-8604 札幌市中央区北11条西13丁目1-1
市立札幌病院 地域連携センター内 電話 011-726-2211

連携医療機関のご紹介

市立札幌病院前

ひやくまち眼科



院長 小栗直美

初めまして。市立札幌病院の南向かい、桑園メディカルビル1階の『市立札幌病院前ひやくまち眼科』です。今年4月に開院15周年を迎えますが、窓のイラストと玄関の写真は当時のままです(^。^;)



外観

当院の特徴は、2006年の開院時より、手術をしない近視矯正法『オルソケラトロジー』を行っていることです。オルソケラトロジーは、2002年にアメリカのFDA（米国食品医薬品局）で承認された近視矯正法で、日本では2009年に厚労省の認可が下りました。現在では世界各国で実施されておりますが、近視進行抑制効果が報告され、最近では子供の近視進行抑制治療としても注目されている治療法です。近年、世界的に近視人口は激増しており、日本でもSOS-J（Society of Orthokeratology and Specialty lens Japan）～近視急増に対するSOS（救難信号）に立ち向かう会～が発足、北海道の世話人



入口

のご指名を受けました。今はコロナ禍でなかなか活動出来ておりませんが、コロナが収束し、また再開する日を楽しみにしております。



院内の掲示版

キッズルームは、「帰りたくない」とごね出すお子様がいらっしゃるくらい人気で、優しく親切なスタッフは、ご年配の患者様に大好評です。当院では手術を行っていないため手術が必要な患者様は市立札幌病院や近隣のクリニックに紹介させていただいておりますが、術後はまた当院に通院いただけるよう快適な環境作り、スムーズな連携を心がけております。親子三世代のかかりつけ医として利用いただけますよう、北海道スタイルでお待ちしております。



キッズルーム



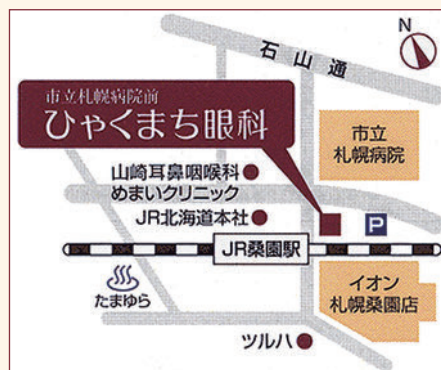
クリニックのスタッフ

●診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	/
14:00~17:30	○	○	○	/	○	/	/

※受付は診療終了の30分前までです
(眼底検査の受付は診療終了の1時間前までです)

●交通案内



『かかりつけ医制度』の推進を強化しています。

市立札幌病院は地域医療支援病院として、地域の医療機関と連携し「地域完結型医療」を推進しております。そのため、病状が安定した外来患者さんには、「かかりつけ医」へご紹介をして、診療の継続をお願いしております。また、病状の変化や検査が必要になった場合は当院へご紹介をお願いいたします。今後ともシームレスな診療に向け、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



『Dr to Dr 患者紹介専用ダイヤルをご活用ください』

～紹介する診療科に迷う場合は「総合臨床センター」をご指定ください～

“緊急である”“困難症例である”等の事情から、通常の紹介経路では受入れに時間を要するケースに対応するため、2016年8月に外部の医師から当院の医師へダイレクトに繋がる『Dr to Dr患者紹介専用ダイヤル』を開設しました。4年余りが経過した現在も月平均80件程度のご利用があり、順調に稼働しております。地域の先生方からは、「指定した診療科や医師へ直接繋がるのが良い」と好評をいただく一方で、「症例によって指定する診療科に迷う」とのご意見が寄せられております。そのような場合は、ぜひ「総合臨床センター」をご指定ください。当センターは、研修医と経験を積んだ各診療科の指導医が共に診療にあたる、いわゆる総合診療科としての役割も担っておりますので、安心して患者さんをご紹介ください。今後も、『Dr to Dr患者紹介専用ダイヤル』をご活用ください。



Dr to Dr 患者紹介
専用ダイヤル

TEL: 011-788-6570

24時間対応

※ただし、夜間休日は当直医が対応し診療科の指定はできません。

当院の診療体制について

日頃より、市立札幌病院の運営にご協力いただき感謝申し上げます。当院では新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生当初より患者さまの受入れ、市中の流行状況に併せて機能の一部を制限する等、診療体制の変更を行っております。

変更の際には、連携医療機関の皆様向けにFAX配信、さらにホームページ上にもその旨を掲載し、ご案内を差し上げているところです。

連携医療機関の皆様には引き続きご不便をおかけすることもあるかと存じますが、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



こちらのQRコードから
ご参照ください。



ホームページもご利用ください

市立札幌病院

